



<Amazon 知育・学習玩具大賞 概要>

コンセプト:

Amazon のお客様が実際に使って「良い」と感じたおもちゃの中から、専門家がそれぞれの知見やお客様の声を参考に、「子どもの知的発達や好奇心をかきたてる遊びができる」ものを選定する賞。

玩具の対象年齢:

知育玩具は2～6歳、学習玩具は3～6歳とし、使用年齢が不明なもの是对象外とする。

2～6歳は知育・学習の点では遊びながら学ぶことで吸収力と想像力を高め、好奇心を満たしながら成長を促すことができる重要な時期とされている。なお、学習玩具は、読み・書き・計算など具体的な学習の要素が含まれるため、成長度合いを考慮し、対象年齢を3歳以上としている。

選考基準:

- **一次審査: Amazon のカスタマーレビューにより、数十万点の中から49点のおもちゃを選定。**
 1. 購入したお客様から、高い支持を得ていること。購入したお客様が投稿したカスタマーレビューの件数が4件以上、かつ星の数は平均4以上とする。
 2. その商品1点だけで子どもが遊べるおもちゃ。2商品以上購入しないと遊べないセット商品は対象外とする。
 3. 店舗やオンラインサイトなどで入手が可能なおもちゃ。ただし廃番のおもちゃは対象外とする。
 4. キャラクター自体が商品の価値になっており、機能や遊び方が知育・学習と関連性が少ないおもちゃは対象外とする。
- **二次審査: 保育・教育・脳科学の専門家の審査により、「知育玩具部門 大賞」「学習玩具部門 大賞」それぞれ1商品、審査員特別賞3商品、アイデア賞1商品を選定。**
 1. 知育玩具部門 大賞は、知的発達や好奇心をかきたてるおもちゃになっている、かつ専門分野の視点から、注目すべきポイントがあるおもちゃとする。
 2. 学習玩具部門 大賞は、その科目や学習分野への興味をかきたてる、または習得の一助となっているおもちゃとする。
 3. 審査員特別賞は、各審査員が専門分野の観点から優れていると評価したおもちゃとする。
 4. アイデア賞は、惜しくも大賞には選ばれなかったが、着想やアイデアが優れているおもちゃとする。
- **Amazon 特別賞:**

新商品のため一次審査の基準を満たさずノミネートされなかったが、次世代の知育・学習玩具として期待できるおもちゃを Amazon おもちゃ&ホビー事業部が2商品、選定。

二次審査 審査員

➤ **教育心理学者: 秋田喜代美(あきた・きよみ)氏**

東京大学大学院教育学研究科教授。前日本保育学会会長。東京大学文学部を卒業後、銀行員、専業主婦を経て、東京大学教育学部に学士入学。日本初の乳幼児の保育に関する学術研究機関である東京大学が新設した「発達保育実践政策学センター」の初代センター長に2015年7月に就任。

➤ **脳科学者: 池谷裕二(いけがや・ゆうじ)氏**

脳科学者、東京大学 薬理学教授。研究の傍ら、脳と教育に関する著書も多く、「進化しすぎた脳」「記憶力を強くする」は20万部を超えるベストセラーになっている。

➤ **育児・保育専門家: 駒崎弘樹(こまざき・ひろき)氏**

認定 NPO 法人フローレンス代表理事。自ら保育士の資格を持ち、厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員会座長、内閣府「子ども・子育て会議」委員も歴任している社会起業家。

受賞商品:

NO	賞	商品	会社名
1	知育玩具部門 大賞	カプラ 200	KAPLA 社
2	学習玩具部門 大賞	世界の国旗かるた	株式会社学研ステイフル
3	審査員特別賞(秋田喜代美氏)	アソブロック BASIC シリーズ スペシャルパック ドラゴン	株式会社マーゼンプロダクツ
4	審査員特別賞(池谷裕二氏)	サボテンバランスゲーム	プラントイジヤパン株式会社
5	審査員特別賞(駒崎弘樹氏)	ニューブロック たっぷりセット	株式会社学研ステイフル
6	アイデア賞	わごむパターンボード	株式会社くもん出版
7	Amazon 特別賞 1	プログラミングロボ コード・A・ピラー	マテル・インターナショナル株式会社
8	Amazon 特別賞 2	ローリーズ・ストーリー・キューブス	The Creativity Hub

■知育玩具部門 大賞

『カプラ 200』(www.amazon.co.jp/dp/B0007KLH1Y)

シンプルでダイナミック、かつ上質な知育玩具。同じサイズの木の板を積み重ねるだけ、という非常にシンプルなおもちゃであるにもかかわらず、アイデア次第で多種多様なものを自在に作ることができ、創造力を育むことにつながる点が評価のポイント。また、友だちや家族と一緒にできるだけ高く積むというような遊び方もでき、子どもの発育に重要な「コミュニケーション」を生み出すきっかけにもなる。さらに、木と木がぶつかる音が心地よく、本物の木のおもちゃならではの普遍的な良さを兼ね備えている。



■学習玩具部門 大賞

『世界の国旗かるた』(www.amazon.co.jp/dp/B000ZI90Q2)

「遊びながら学ぶ」という学習玩具の重要な要素を持ち合わせており、子どもが国旗や地図を楽しく覚える学習かるたとして優れている。また、大人の視点からも新しい発見があり、家族全員で楽しむことができるのも魅力。子どもの学びを通じて、家族間のコミュニケーションを活性化できるという点も評価につながった。



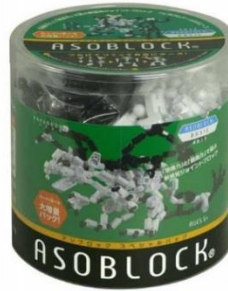
■審査員特別賞

『アソブロック BASIC シリーズ スペシャルパック ドラゴン』(www.amazon.co.jp/dp/B000Z400NI)

教育心理学者・東京大学大学院 教育学研究科教授 秋田喜代美氏

パーツをはめたり差し込んだりしてつなぎ合わせる仕組みで、単に積むだけのおもちゃにはない、関節のような回転の動きを体験でき、表現力を上げられることがこのおもちゃの大きな魅力である。また、幼児教育において重要とされている手先の巧緻性(こうちせい)を高めることにつながる。

自在につなぎあわせて空想の世界を膨らませることは、2~6 歳の子どもに大切な「根気よく知的興味を広げながら創造力を育むこと」にも役立つと考えられる。



『サポテンバランスゲーム』(www.amazon.co.jp/dp/B0009B0M4E)

脳科学者・東京大学 薬理学教授 池谷裕二氏

オブジェとしても楽しめるデザイン性の高さが素晴らしい。頭を使ってサポテンを倒さないようにパーツを差し込んでいき、毎回違う形に成長させることは、計画性と想像力の発達につながる。また、脳科学の観点では、3 歳から 1 つのものをいろいろな視点で見ることが必要と言われており、様々な角度から立体を把握する訓練にもなる。



『ニューブロック たっぷりセット』(www.amazon.co.jp/dp/B00MAY7LOC)

育児保育専門家・認定 NPO 法人フローレンス 代表理事 駒崎弘樹氏

ブロック一つひとつが大きいので安全性が高く、また、手の指を大きく使って様々な形を作ることができる、子どもの創造力を刺激するおもちゃ。また、友だちと一緒に遊ぶことができるので、コミュニケーションのきっかけにもなることが素晴らしい。



■アイデア賞

『わごむパターンボード』(www.amazon.co.jp/dp/B00960ZVR2)

ボード・カード・輪ゴムの組み合わせで、様々な形を作り出せる発想に審査員全員が感銘を受けた。シンプルだからこそ創造性を刺激するおもちゃ。また、コンパクトで軽く、持ち運びがしやすく、どこでも遊ぶことができる手軽さも魅力。アイデアが詰まった商品であり、同時にアイデアを刺激する知育玩具。



■Amazon 特別賞

『プログラミングロボ コード・A・ピラー』(www.amazon.co.jp/dp/B01ASVD2L4)

2016年9月に発売されたばかりの商品。一つひとつの胴体を組み合わせることで、動きや音を変えていくイモムシ型の新感覚玩具。2016年2月に行われたニューヨークフェアにて初めて披露され、多数のメディアに取り上げられた。米国のAmazonでもすでにカスタマーレビューが30件以上、星の数が平均4以上の高評価となっている。日本でも2020年から義務教育で必修化が検討されている「プログラミング」を簡単に学べるだけ



でなく、おもちゃとしても楽しく遊びながら想像力を刺激する点が次世代おもちゃとして評価された。

『ローリーズ・ストーリー・キューブス』(www.amazon.co.jp/dp/B00DMQSQXC)

即興でストーリーを創作して楽しむ、ポケットサイズのお話サイコロ。米国のAmazonでは1,000件以上のカスタマーレビューがついており、星の数が平均4以上の人気商品。学習玩具の中でもゲーム性が高く、楽しみながら学べる要素が強いおもちゃ。お話を作る過程で想像力を刺激するだけでなく、言葉が増えることで話す力を伸ばす練習にもなる。さらにコミュニケーションのきっかけとしても優れている。



<Amazon について>

Amazonは4つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazonプライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexaなどは、Amazonが先駆けて提供している商品やサービスです。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

アマゾンジャパン合同会社

プレス対応 Tel: 03-6367-4117

プレス対応 E-mail: press@amazon.co.jp

株式会社プラップジャパン

Tel: 03-4580-9101

E-mail: amazon@ml.prap.co.jp